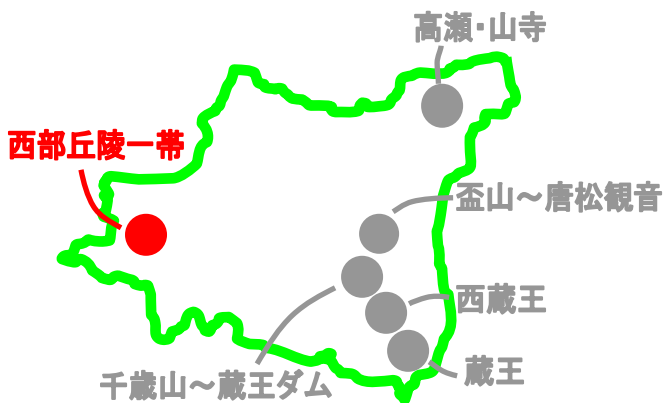


## 西部丘陵一帯(夏～秋)



### やまがた自然散策ガイドマップ



#### 山形市環境部環境課

〒990-8540  
山形市旅籠町二丁目3番25号  
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

## 西部丘陵一帯で見られる動植物



＜ケナシヤブデマリ＞

ヤブデマリの雪国型で、基準標本の採集地は秋田県湯沢市で、多雪地帯に多いようです。板橋沼の西岸、はんのき広場に抜ける道の脇に多く自生しています。白い装飾花が結構目立ちます。(花期7月～8月)

太平洋要素植物の一つですが、日本海岸の方まで進出している数少ない種の一つです。西部丘陵地区では、少年自然の家の職員によって守られてきた植物ですので、皆さんも大事にしてください。



＜ヤマユリ＞

スイレン科の植物で、新芽を食べる事でも有名です。曲沼では、以前から地域住民が、食用として採集しています。新芽は寒天物質で覆われ保護されています。夏に赤い花を水面に出します。

＜ジュンサイ＞

肝木と書いてカンボクというのは、実がいつまでたっても苦く、鳥も食べないほどと言われているのに関係が有るのでしょうか。水辺を好み、湖沼群の沼のほとりで多く見かけます。



＜カンボク＞

## 西部丘陵一帯で見られる動植物



＜オオルリポシヤンマ＞

大型のヤンマの仲間で、♂は鮮やかな青色をしており、♀は青型と褐色型の2型があります。湖沼の水面をパトロール行動をしている姿がよく見かけられます。7月から11月まで見ることができません。



＜アオゲラ＞

細くて白いアイリングがあります。夏鳥として渡来し、山地の林や林縁で繁殖しますが、分布は局地的です。チンチンチョロリー チョリチョッとさえずります。(日本固有種 夏鳥)



＜ニジコ＞



＜ワカサギ＞

かつては荒沼などに普通に見られましたが、オオクチバスやブルーギルが生息するようになってからは見られなくなりました。時々放流されていますが回復はしていません。氷上での穴釣りが有名です。